

おじちゃん先生は現代の忙しい世の中が忘れかけている心を届ける人だったのだと思えました。

村尾靖子 記

▲保育者関係者より

鳥取こども園 施設長 藤野興一 様

・ 保育園の日常的な背景の中に人間の温かさを感じました。そして、こどもたちにも幅広く読まれやすい内容であると思わされましたが、その中には惜しみないこどもへの「愛」が描かれている事に気付かされました。

当法人『鳥取こども学園』のキリスト教の理念「愛は絶えることがない」(聖書・コリントの信徒への手紙13章8節より)という言葉が有ります。物語の終盤で、こどもたちの中に残った温かなものがまさに、惜しみない愛が育んだ産物なのだと思います。さらに、おじちゃん先生と関わってきたかつてのこどもたちが遺影の前で涙する姿、絵本の本編の後にも物語が続いている様子が浮かび上がりました。この素晴らしい感動を当施設のこどもたちだけでなく、職員にも伝えさせていただきます。

▲保育園園長関係より

旧 公私立保育園園長 小林達子様に寄せられた感想です。

・ 五十年誌を手元に開きながら今絵本を読んでいます。涙が止まりません…… 保育園長だった頃、儀重さんとはとても親しく、良くして

いただいたものですから……

・ 主人と二人でゆつくり読みました。胸が熱くなり何回も何回も読み泣きました。娘(保育士をしています)が園児がとても喜び読み聞く事だろうと思います。今、感動の少ない娘達に大いに感動してほしいものですネ……

・ 色々な話に花が咲いた中で「絵本」の話に「わたしに三冊絵本を下さい」と云われる。(孫が三人いるので)クリスマスのプレゼントにしたいのです。嬉しいです。感謝、感謝。

・ 米子であった全国図書館研修会に出席していました。その時にいただいたチラシと村尾さんとのトークが胸にありました。その時の絵本に出会えてとても嬉しいです。チラシの絵に引かれるものがあつたのです。出版を楽しみにしていました。

宮崎県の保育園園長先生より

・ 絵本ですが同じ保育園を営む者として、又又感動致しました。子どもは抱っこしてもらうのが大好きです。抱っこすると無条件に喜び愛情安心感で少々の痛みや不安感など吹飛んでしまうのでしょう。おじちゃん先生のお気持ちがよくよく理解できて、ほのぼのとした素晴らしい絵本だと思います。でも、おじちゃん先生遠くへ行ってしまわれたんですね。悲しいです。子ども達に読んであげましたら、身を乗り出して目をキラキラ輝かせて聞いておりましたが、年長児ともなりますと天国へ行かれたおじちゃん先生のごことが悲しかったのでしよう、しょんぼりとなりました。